

2015.9.15-19

特定非営利活動法人 アフリカ支援 アサンテ ナゴヤ
ケニア ゲムイースト村医療活動-報告



成田(日本)
↓
↓11時間
↓
アブダビ
(アラブ首長国連邦)
・
・トランジット:4時間
・
↓
↓6時間
↓
ナイロビ

成田→ナイロビ:21時間

報告者:鍼灸師中野朋儀



ケニアは、アフリカ大陸東部にある共和国で標高900mの等高線を境にして、低地ケニアと高地ケニアに二分されます。低地ケニアはインド洋海岸平野で雨が少なく人口も希薄で、高地ケニアは南西部を占め温和で降水に恵まれた山地とビクトリア湖岸に人口が集中している地域です。

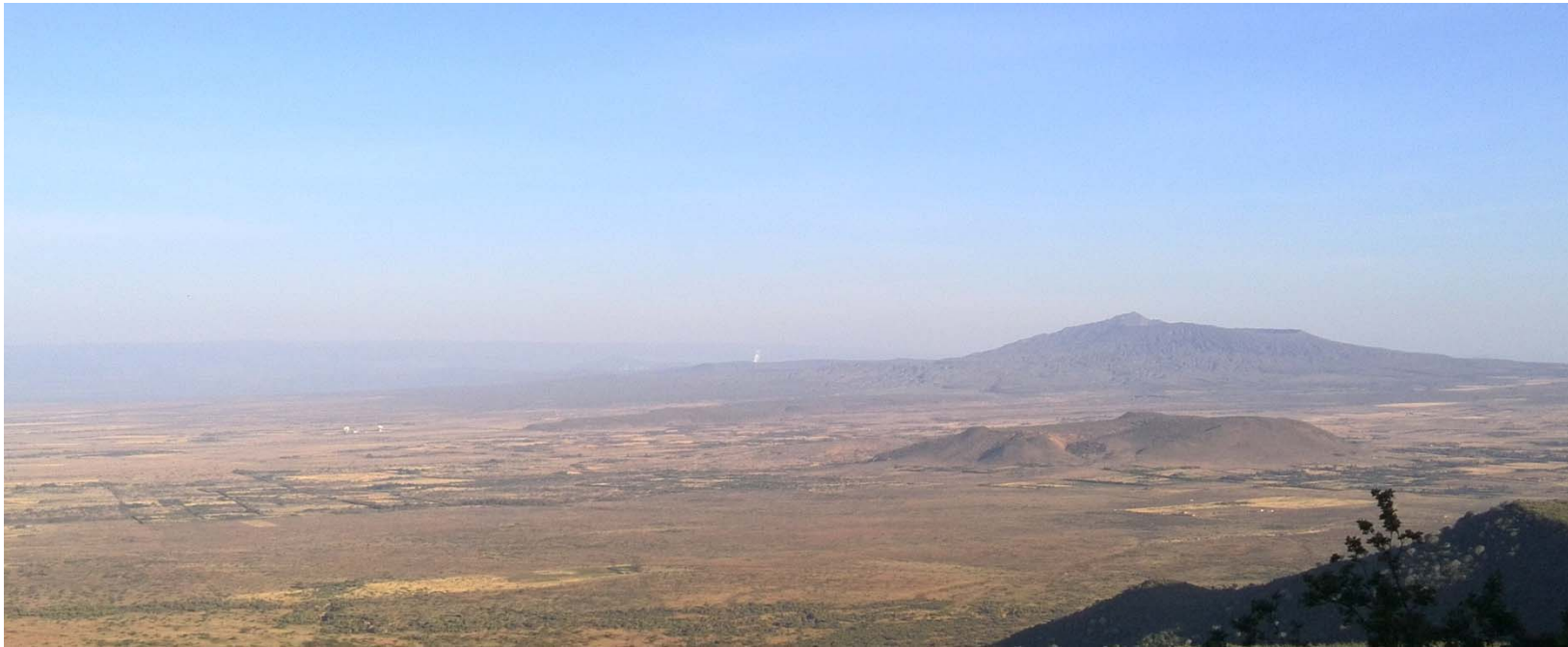
ケニアではスワヒリ語が共通言語とされますが、ゲムイースト村(高地ケニア)はルオ族がルオ語を使いますがスワヒリも英語も話せない人が沢山いるようです。



ナイロビ City

ナイロビ空港から目的地キシイ
まで、マイクロバスでアフリカ
大陸を約8時間の移動です。
(東京一名古屋間約350km)





ナイロビからキシイへの移動途中。アフリカ大陸の眺望です。



ベースキャンプ地(キシイ)のホテル
ここから5日間、ゲムイースト村まで
赴きます。





ゲムイースト村へ向かう道です。片道1時間の道のりです。



ゲムイースト村です。近くの小学校から子供たちがお出迎えです。

「特定非営利活動法人アフリカ支援アサンテナゴヤ」

アフリカの人々が健康な生活を営めるように、医療支援、教育支援、自立支援を行うことを目的としています。

ケニア奥地・ヴィクトリア湖近くの農村で無料医療キャンプを実施し、現地NGOと連携してHIV/AIDSの予防啓発活動をしています。（アサンテナゴヤHPより文面抜粋）

医療キャンプには、医師・看護師・薬剤師・検査技師

・鍼灸師などがボランティアとして参加・活動しています。

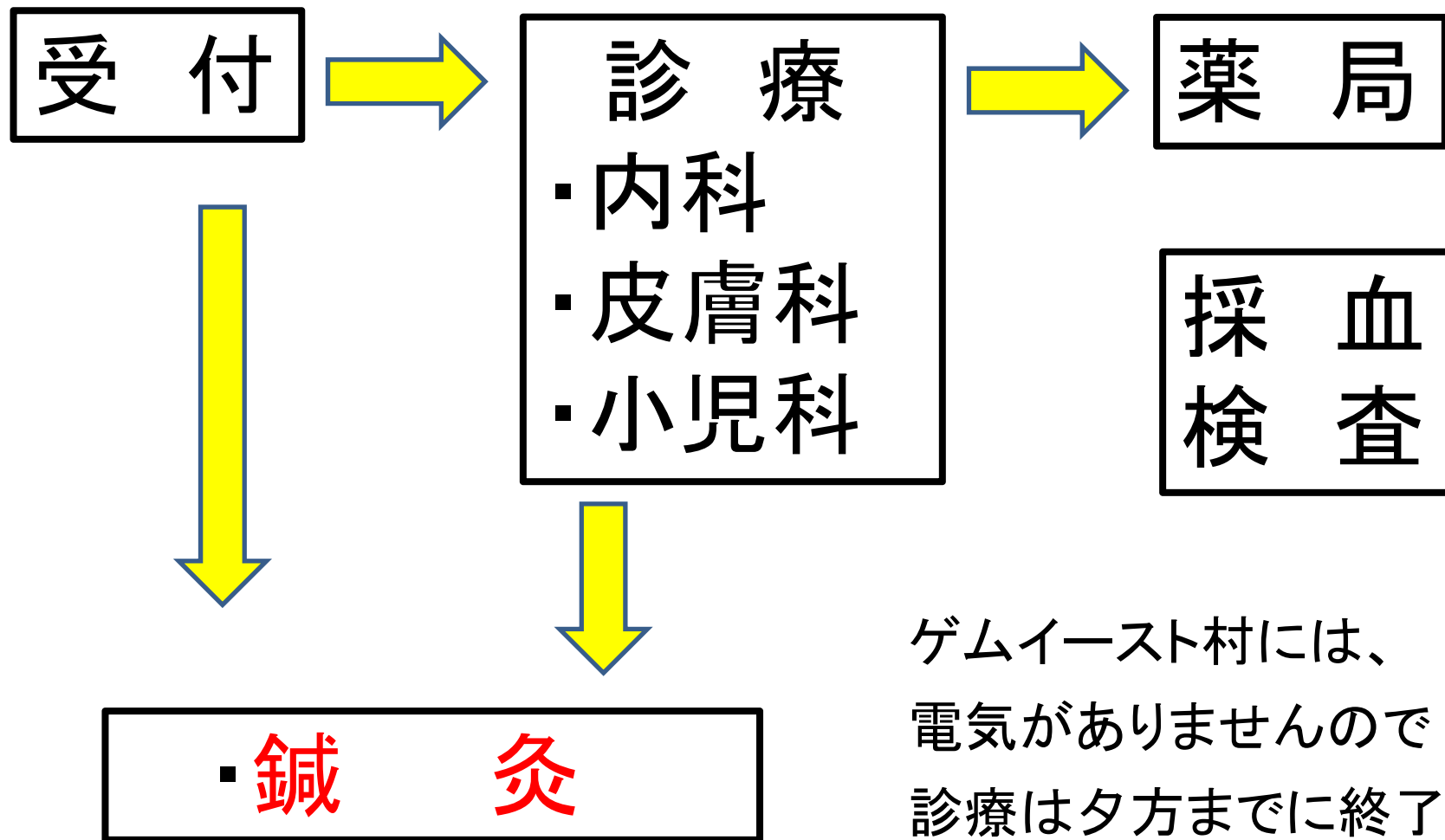


コミュニティセンター(2014. 3完成)



朝の受付(診療)を待つ人々です。(受付時間:9:00~14:30)

診療（患者さん）の流れ



ゲムイースト村には、
電気がありませんので
診療は夕方までに終了
しなくてはなりません。



医療エリアでの診療です。

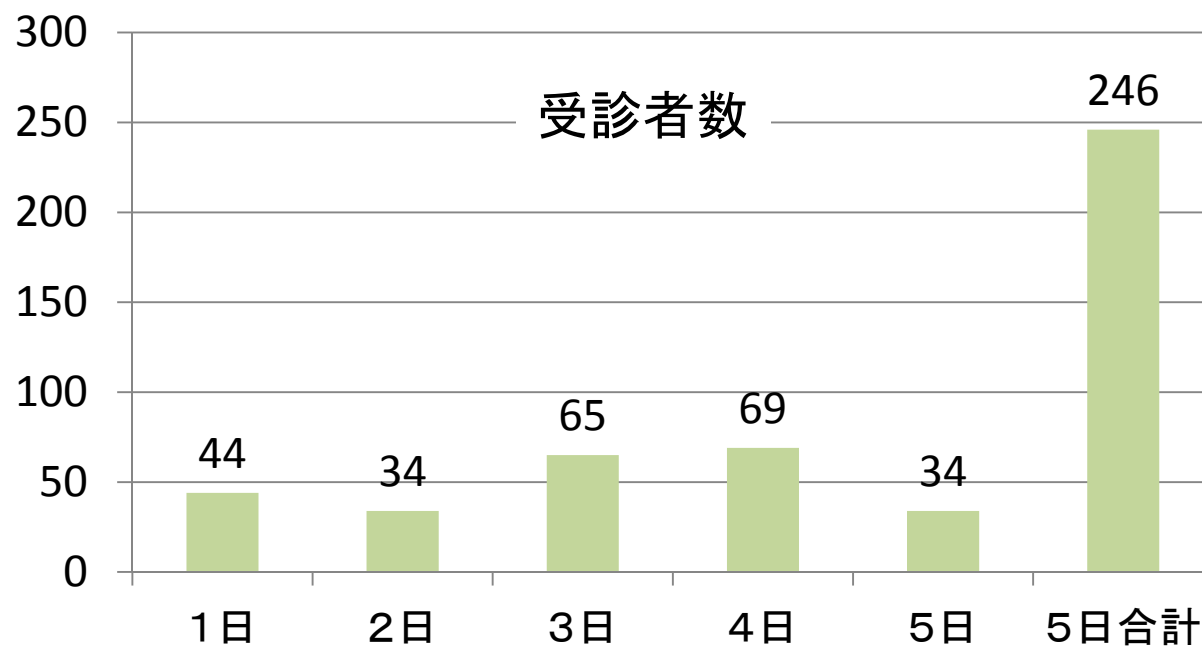
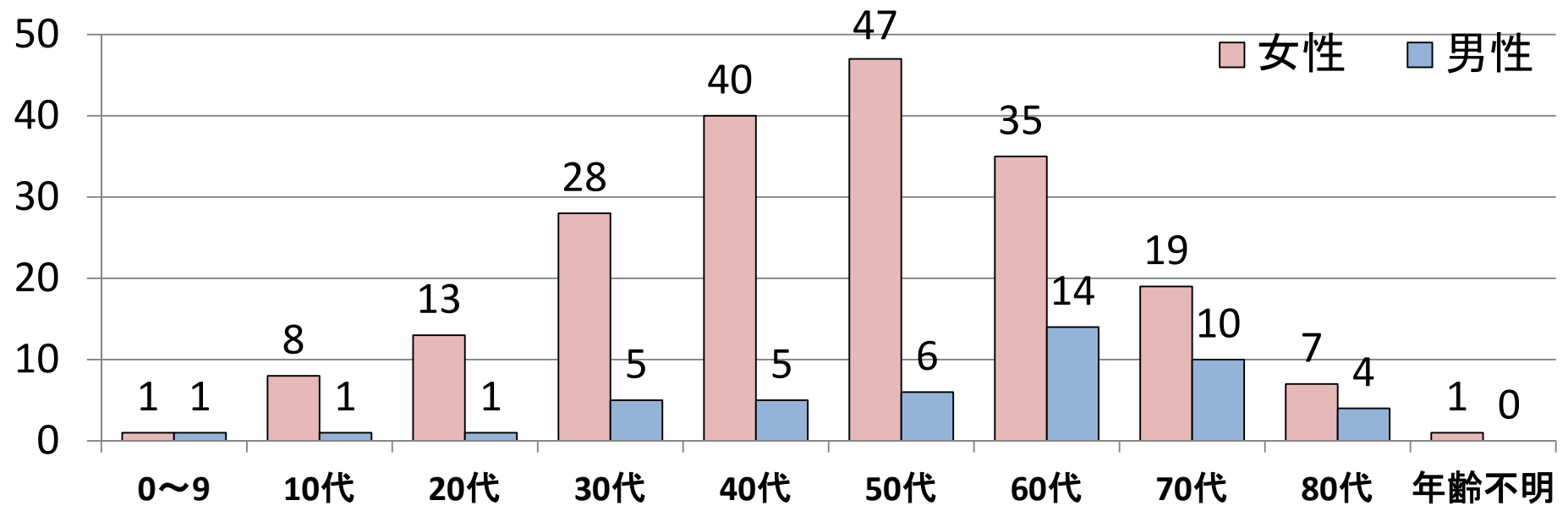
内科4名・皮膚科1名・小児科2名のDrで診療が行われます。

5日間の受信者数: 1, 619人

HIV陽性率: 18人/320人(5.6%) * 2014年: 52人/332人(16%)

マラリア陽性率: 71人/285人(25%) * 2014年: 88/246(36%)

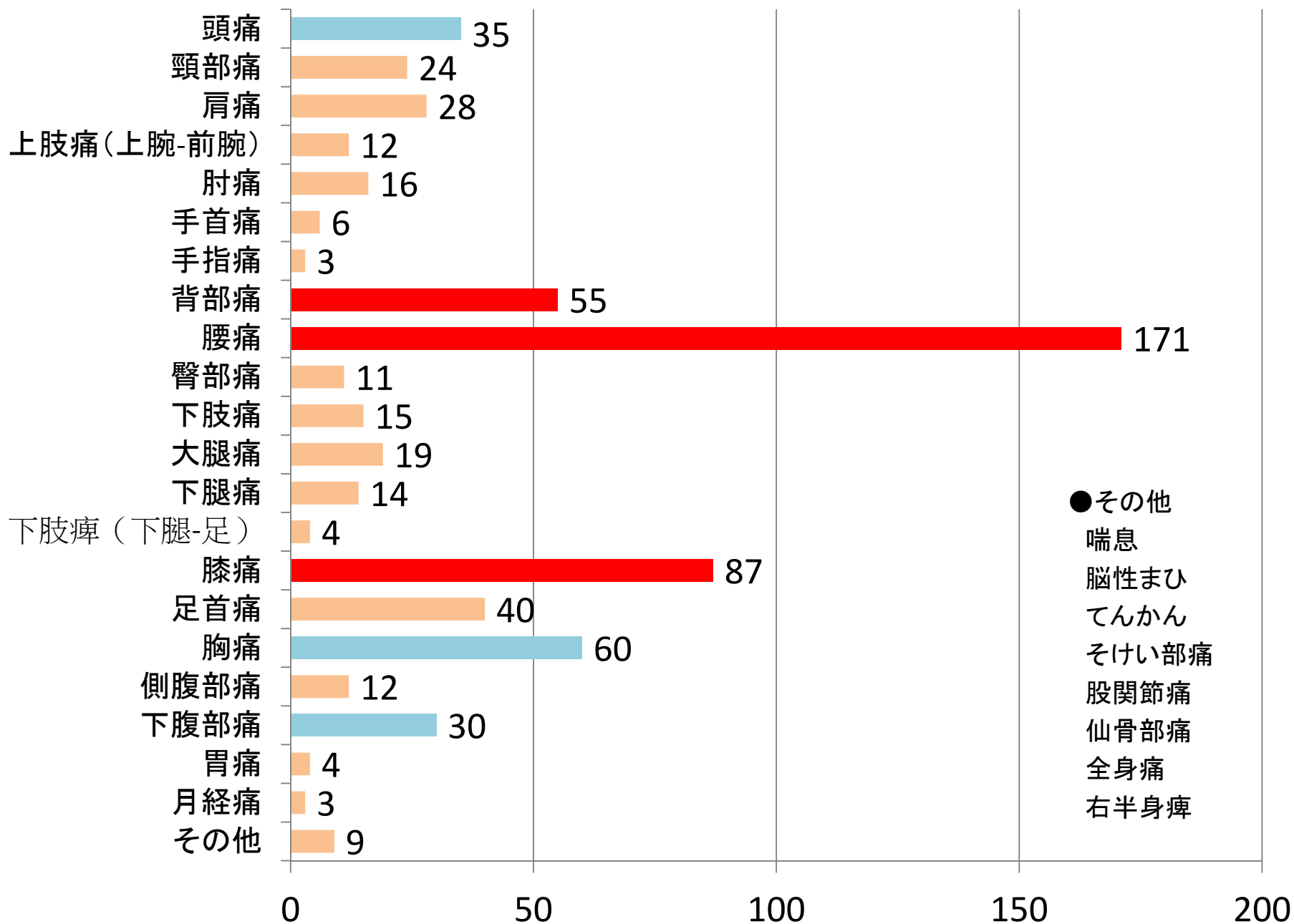
年齢・性別



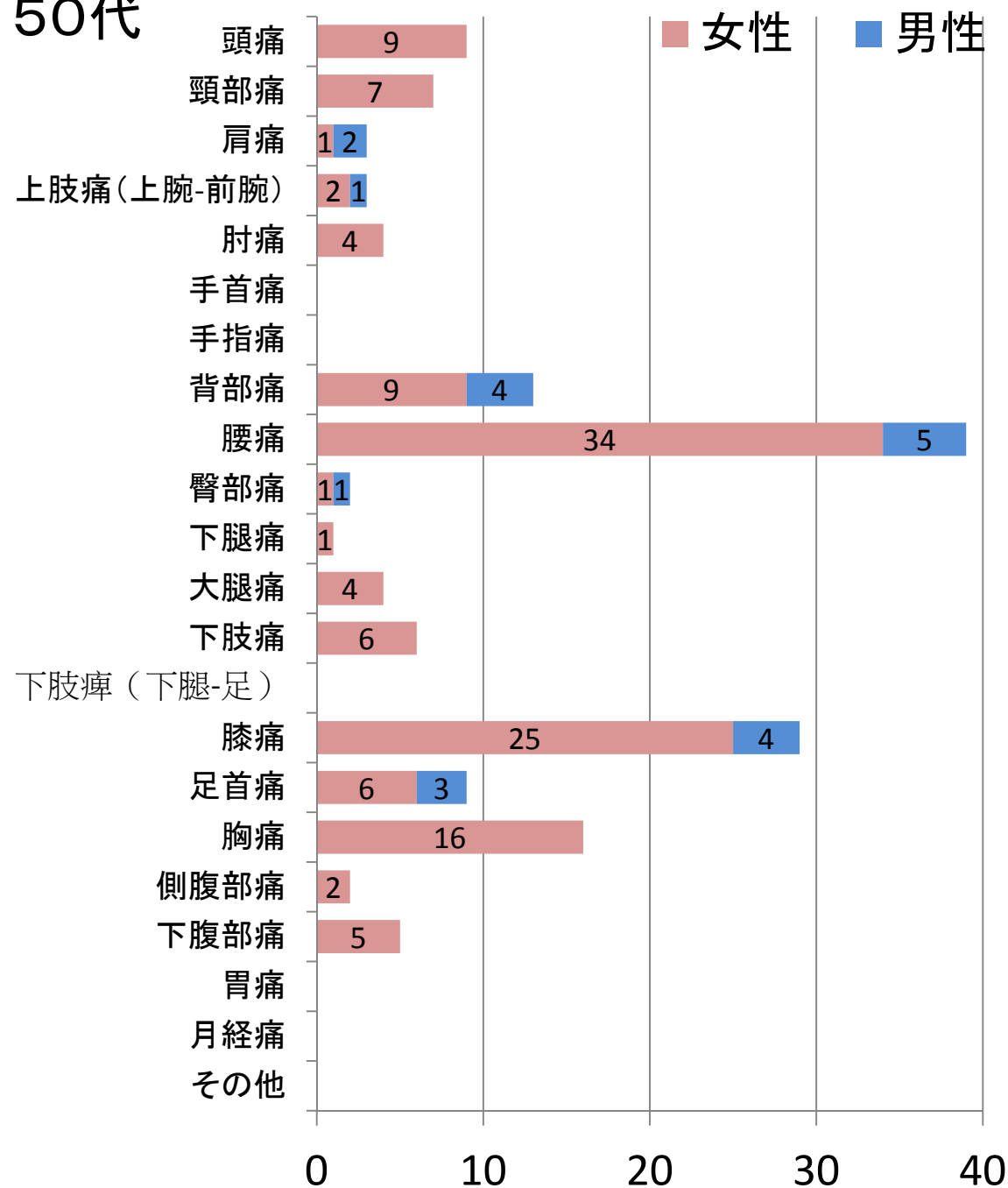
平均年齢: 47.9歳

総合計数: 246名

主訴内訳(総数:246名)



50代



年代別主訴の内訳
(特に主訴が多い年代)

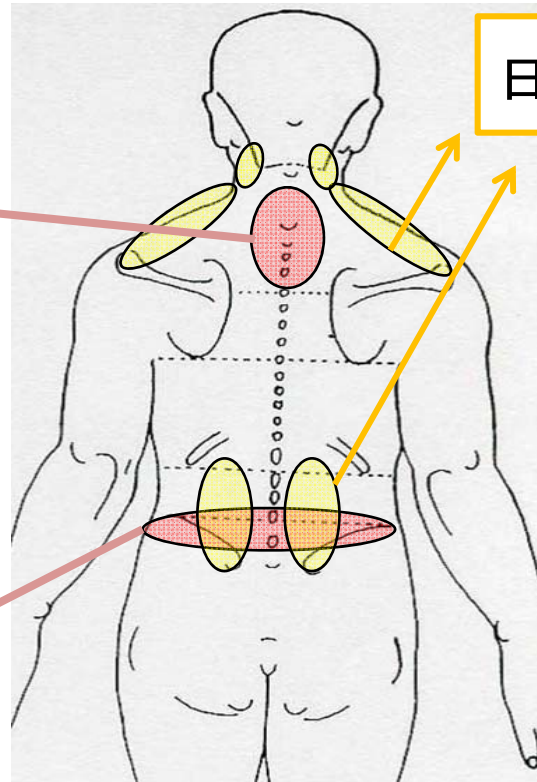
腰痛・膝痛・背部痛の順
に訴えは多く、各年代共
通していたが頭痛・胸痛
も多い印象だった。



・キシイ地方は、高地ケニア山地で年1500mm以上の安定した降水量があり肥沃な土地で農耕する民族。

・女性の仕事・

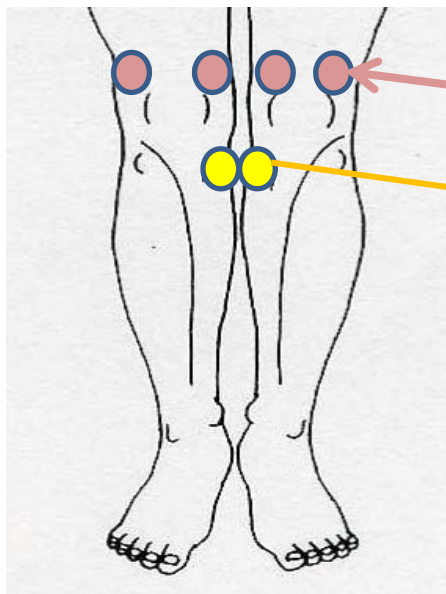
アフリカ農村部では、家族で食べる食料の生産、薪などの燃料や水の調達から始まる炊事、洗濯、育児など。



日本での肩－腰の痛みの部位

日本では、首筋から肩の上縁にかけての凝りなどを訴えるが、ケニアでは首の後ろの骨が痛いと訴えていた。

腰では、上下に痛みや張りを訴えるが、ケニアでは、ウエストラインに痛みを訴えていた。



日本での膝の痛みの部位

日本では、膝の関節の変形による痛みが多いが、ケニアでは少なく痛みの部位は膝の上に痛みを感じている。

肩－腰－膝に訴える痛みは生活様式の違いによるものかと思います。頭の上に荷物を乗せて運び、畑を耕すときに腰を90度曲げて作業することで腰1からだを支えるために膝上へ負担がかかるためと考えられる。



鍼灸エリアで順番を待つ人々です。

みんなピッタリと隙間なく並んでいます。知らない人とはいえ、みんな仲良し？

いえいえ、列に割り込まれないようにだそうです。

所変わればいろいろです。



鍼灸治療スペースで治療を受けている様子です。木のベンチ(椅子)をベット代わりにしますが、長細いベンチを2つ並べて紐で結わいて固定しますのでベットに乗る時にささへなければなりませんが、また、それは治療を受ける人と呼吸を合わせることが微妙なコミュニケーションになっています。

3日目の朝、鍼灸治療スペースに来たら現地通訳ボランティアが装飾してくれていました。驚きと感激、何とも心が癒されました。

限られたスペースでの施術ですが、日に日に施術を受けられる人々が多くなりベットだけでは足りず、椅子での施術を増やすなど工夫して対応しました。





マラリア感染による関節の痛みで鍼治療を受ける10才の女の子です。
おでこに手を当てると熱があることが分かります。

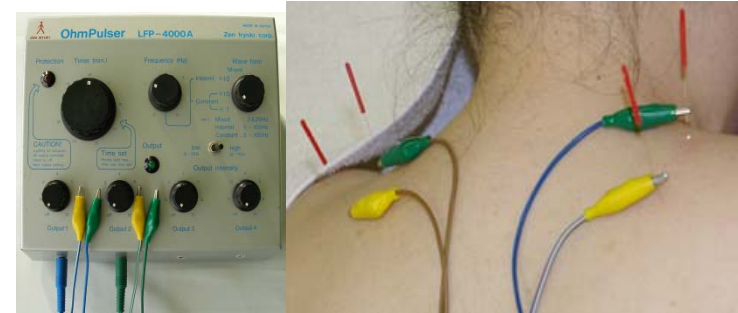
マラリアを疑う症状は、

- ・突然の高熱(38℃以上)
 - ・悪寒・頭痛・筋肉痛・吐き気・下痢
- などがあります。



約1ヶ月前に井戸に落ちて腕を骨折し後の痛みに対して鍼治療を受けている少女です。

・低周波鍼通電療法



鍼に微小電流を伝え筋肉に刺激する方法で効果としては、

- ・筋の緊張緩和。
- ・筋への血流を増やす。

実際おこなってみた印象ですが、何が起きているかわからないようでしたが、刺激を心地よく感じられている場面もありました。腰など、厚みがある筋肉に使うにはいいかもしれません。





小児用治療用の鍼です。



鍼治療用の
鍼です。



小児科からのコンサルトによる1歳6か月の小児麻痺の女児です。

通訳を通して小児
鍼の使い方をレク
チャーしています。





MOXAFRICA(団体)が、結核治療へ補助的灸治療として南アフリカとウガンダで薬剤耐性結核疾患に対してお灸によりQOLを向上させる活動を行っている。

アサンテナゴヤでも昨年、ヘルスワーカーを対象にお灸のワークショップを実施しています。報告により、HIV感染者のCD4の値がよくなってきたり、体調がよくなっている報告があるようです。

日本のお灸が、薬剤耐性結核疾患の症状改善に役立つことは素晴らしいことと思います。



ここには、水道はありません。
施設内にある水場です。

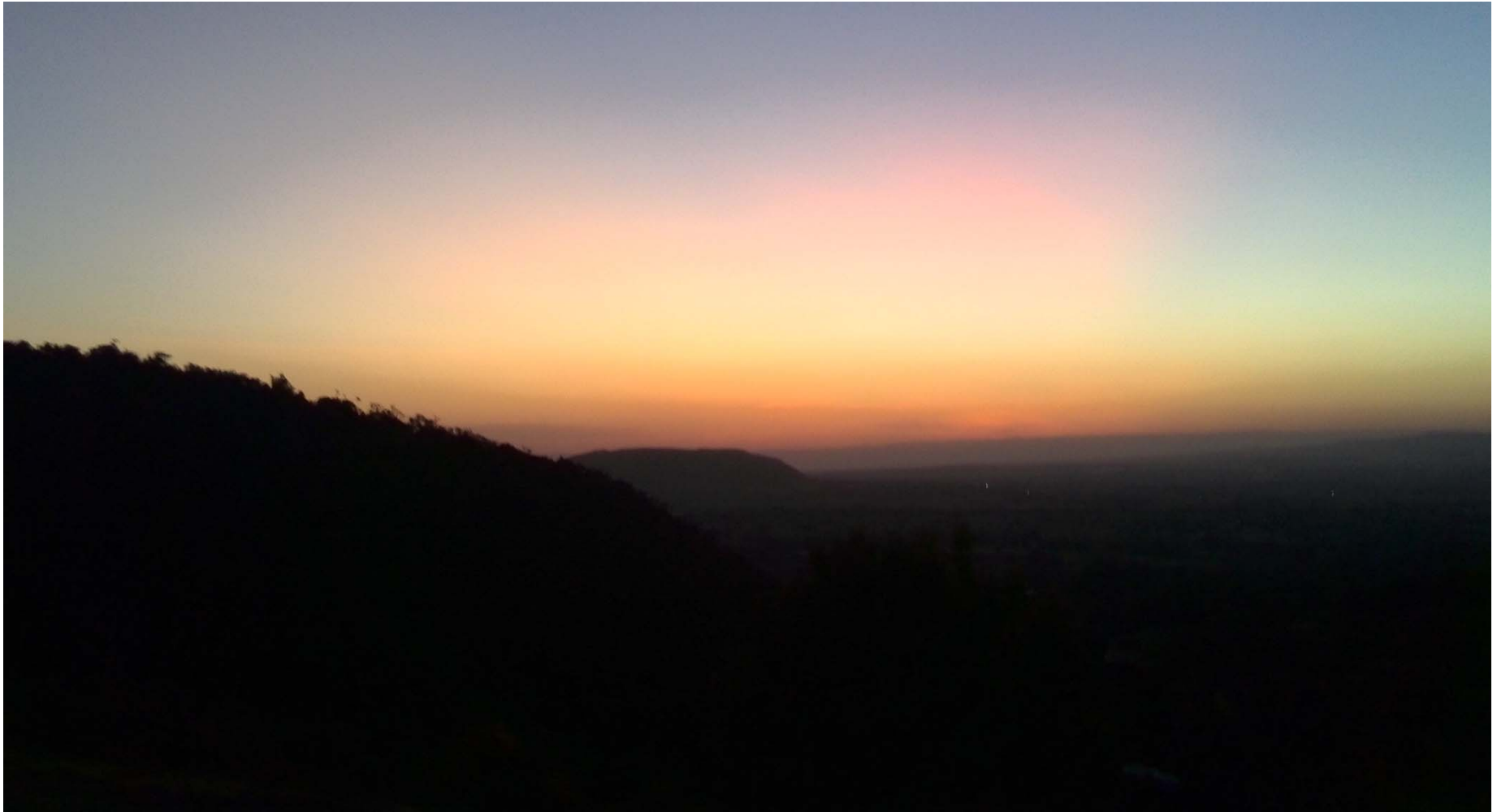
施設内にあるトイレまで少し遠い
です。。。



赤道直下のため、自分の影が真下になり自分では気づきません。



季節は大きく雨季と乾季ですが、標高1800m)涼しく雨が多いです。
乾期(12月から2月)を除きほぼ1年中降が降ります。夕方に毎日スコールが1時間ぐらい続きます。



ゲムイースト村での5日間の活動が無事終わりました。
アフリカ大陸の風を感じ、大自然を感じ、ルオ族の優しさを感じ、
沈む夕日に思いを馳せて日本へ戻ります。